

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
令和7年度事業計画

【基本方針】

主として独立行政法人日本芸術文化振興会（以下「振興会」という。）からの委託を受け、組踊等の公開等の事業について次の業務を行う。

- 1 沖縄伝統芸能等の公演
- 2 伝統芸能伝承者養成業務
- 3 調査研究、資料収集・利用業務
- 4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること
- 5 国立劇場おきなわの施設の管理運営
- 6 その他必要な業務

1 沖縄伝統芸能等の公演（219,929千円）

(1) 自主公演の開催（167,165千円）

〔目 的〕 沖縄伝統芸能等の公演

〔事業内容〕 自主公演（下記の19公演28回）の稽古及び開催

○定期公演（12公演16回）

公 演 名	期 日	回数
琉球舞踊「うりずんの舞」	4月12日、13日	2回
琉球舞踊鑑賞会	4月26日	1回
組踊「未生の縁」	5月17日	1回
三線音楽「古典音楽の美」	5月31日	1回
琉球舞踊「群舞の彩り」	6月7日	1回
三線音楽「琉球・沖縄 こころの歌」	6月21日	1回
組踊「西南敵討」	10月18日	1回
民俗芸能「波照間島の芸能」	11月23日	1回
琉球舞踊「男性舞踊家の会」	12月20日、21日	2回
沖縄芝居「ハヂチナビー小」「春夏秋冬」	1月10日、11日	2回
琉球舞踊「琉球舞踊特選会」	2月14日、15日	2回
創作組踊	3月14日	1回

○企画公演（2公演2回）

公 演 名	期 間	回数
国立劇場寄席	11月15日	1回
ISLAND SONGS 島のうた ※	1月24日	1回

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

○研究公演（1公演1回）

公 演 名	期 間	回数
首里城舞台による、組踊「執心鐘入」※	12月13日	1回

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

○普及公演（4公演9回）

公 演 名	期 間	回数
組踊の世界「女物狂」※	7月19日	1回
琉球楽器の音色 ※	8月16日	1回
組踊鑑賞教室「二童敵討」※	9月17日～ 9月19日	6回
はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「二童敵討」※	9月20日	1回

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

(2) 連携協力公演等の開催

○共催公演（2公演9回）

公演名（下段は連携協力先等）	劇場	期 間	回数
沖縄県伝統芸能公演（かりゆし芸能公演） （（公財）沖縄県文化振興会）	小劇場	6～2月	8回
新春組踊大公演 （（一社）伝統組踊保存会）	大劇場	1月	1回

○沖縄県受託公演（3公演7回）

公演名	劇場	期 間	回数
戦後80周年平和祈念事業 史劇「王子の乱」	大劇場	7月5日 ・6日	2回
戦後80周年平和祈念事業 アジア・太平洋地域の芸能 「済州、沖縄、日本の芸能（仮）」	大劇場	9月28日	1回
琉球歴史文化の日 沖縄芝居鑑賞教室 「怪猫伝 化け猫～山田祝女殿内～」	大劇場	10月30日～ 11月1日	4回

※沖縄県受託公演は、(4) 戦後80周年平和祈念事業、(5)伝統文化活性化事業に再掲

(3) 団体バス助成事業（2,000千円）

〔目 的〕 青少年等、国立劇場おきなわの公演を鑑賞する機会が少ない層の団体
に対して、劇場までのバスチャーター経費を助成する。

〔事業内容〕 貸切バスの費用を助成する。

(4) 戦後80周年平和祈念事業（33,587千円）＜沖縄県委託事業＞

〔事業名〕 おきなわの心「チムグクル」継承・発信事業

〔目 的〕 戦後80周年となる令和7年6月から12月に平和と歴史文化に関する
各種イベントを琉球歴史文化の日と関連して実施し、平和を希求する
「おきなわの心」を県内外に発信する。

〔事業内容〕 国立劇場おきなわでは、平和の希求をテーマにした史劇「王子の乱」
と、韓国済州と沖縄、日本の芸能による合同公演を開催し、平和を考
え、交流する機会を創出する。

○沖縄県委託事業による公演（県内2公演3回）

公演名	劇場	期 間	回数
戦後80周年平和祈念事業 史劇「王子の乱」※再掲	大劇場	7月5・6日	2回
戦後80周年平和祈念事業 アジア・太平洋地域の芸能 「済州、沖縄、日本の芸能（仮）」※再掲	大劇場	9月28日	1回

(5) 伝統文化活性化事業（17,177千円）＜沖縄県委託事業＞

〔事業名〕 若年層普及啓発・県外PR事業

〔目 的〕 県外での沖縄伝統文化の公演等を通じて県内へ観光客を誘致するとと
もに、「琉球歴史文化の日」に若年層が文化に触れる機会を創出する。

〔事業内容〕 県外文化施設で沖縄伝統芸能の公演を実施する。

県内では「琉球歴史文化の日」にあわせて若年者対象の公演とワーク
ショップを実施する。

また、鑑賞する学校団体のうち3校（予定）に、ワークショップの出
前講座を実施する。

○沖縄県委託事業による公演（県外1公演2回、県内1公演4回）

公演名	劇場	期 間	回数
沖縄芝居鑑賞教室 「怪猫伝 化け猫～山田祝女殿内～」※再掲	大劇場	10月30日～ 11月1日	4回
国立劇場おきなわ県外公演 （（公財）茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団）	茅ヶ崎市民 文化会館	2月1日	2回

2 伝統芸能伝承者養成業務（24,122千円）

(1) 組踊（立方・地方）の伝承者養成事業（20,907千円）

〔目 的〕 国の重要無形文化財「組踊」立方・地方の伝承者を養成する。

〔事業内容〕 第7期研修生に対し、実技（組踊・副・基礎）等研修及び発表会を実施するとともに、組踊養成事業の計画並びに評価を専門的観点から検討するため、養成事業委員会を開催する。

○研修発表会（2公演2回）

公演名	劇場	期 間	回数
第7期組踊研修生第5回研修発表会	大劇場	10月9日	1回
第7期組踊研修修了発表会	大劇場	3月5日	1回

(2) 既成者研修事業（3,215千円）

〔目 的〕 研修を修了した者に既成者研修を行い、技芸の向上を図る。

〔事業内容〕 組踊研修を修了した若手実演家に対し、組踊実技の研修及び若手伝承者公演を実施する。

○既成者発表会（1公演1回）

公演名	劇場	期 間	回数
第15回若手伝承者公演	大劇場	12月6日	1回

3 調査研究、資料収集・利用業務（18,580千円）

(1) 芸能記録作成（16,332千円）

〔目 的〕 組踊等沖縄伝統芸能の調査を実施し、収集、整理及び記録作成を行う。また、自主公演の記録、上演資料集、公演記録台本等の作成等を行う。

〔事業内容〕 組踊等沖縄伝統芸能の調査、収集、整理及び記録作成を行うとともに、自主公演の公演記録、上演資料集及び公演記録台本の作成を行う。

(2) 組踊等沖縄伝統芸能の図書資料等の収集・整理・利用（2,248千円）

〔目 的〕 組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資する図書資料等の収集、整理を行う。また、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、一般の利用に供する。

〔事業内容〕 図書資料等の収集整理、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、一般の利用に供する。また、公演記録鑑賞会及び沖縄伝統芸能等公開講座を開催する。

○展示（4回）

展示名称	期 間	日数
第1回企画展「国立劇場所蔵 上方浮世絵展」	4月19日～6月22日	65日
第2回企画展「子ども企画」	7月19日～9月21日	65日
第3回企画展「琉球舞踊」	10月11日～12月21日	72日
第4回企画展「沖縄芝居」	1月10日～3月22日	72日

（展示会場：国立劇場おきなわ資料展示室）

○公演記録鑑賞会及び公開講座（4回）

講座等名称	劇場	期 間	回数
「上方歌舞伎の浮世絵」	小劇場	5月	1回
「歌って踊ろう！夏のおけいこ」	大稽古室	8月	1回
「英語で語る、ISLAND SONGS」	OIST（仮） プラザハウス（仮）	11月	1回
「沖縄芝居（仮）」	小劇場	2月	1回

4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること（8,780千円）

(1) 劇場施設の貸付

〔目 的〕 劇場施設（大劇場、小劇場及び稽古場）の貸付を行い、芸術・文化の振興に寄与する。

〔事業内容〕 劇場施設の貸付を行い、国民の芸術・文化活動等の利用に供する。

5 国立劇場おきなわの施設の管理運営（590,232千円）

(1) 国立劇場おきなわの施設の管理運営

〔目 的〕 振興会からの委託を受け、国立劇場おきなわの施設の管理運営を行う。

〔事業内容〕 国立劇場おきなわの施設の管理運営。

6 その他必要な業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催（4,451千円）

〔目 的〕 国立劇場おきなわ自主公演を継続して鑑賞する者の便宜を図ることを目的とする「友の会」の会員募集を行う。また、会員特典として、会報の発行や講演会等を開催する。

〔事業内容〕 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集、会報の発行及び講演会等の開催。

(2) 募金活動等の推進（640千円）

〔目 的〕 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団の活動資金の造成を図る。

〔事業内容〕 企業等へ賛助会員加入及び寄付金（職場募金）を依頼する。

【参考】「日本博2.0」事業関連（82,193千円）

※金額・内容ともに申請ベース「1 沖縄伝統芸能等の公演」の内数

※「日本博2.0」は、「日本の美と心」を基本コンセプトに、最高峰の文化資源を更に磨き上げ、その強みや魅力を見える化することによって、年間を通してインバウンドの需要に応えることを目的とした国の事業

(1) 沖縄伝統芸能の発信～2025年大阪・関西万博へ～各取組の概要

①2025年日本国際博覧会「琉球祭」（令和7年5月4日～6日予定）

- ・琉球舞踊・獅子舞・沖縄の歌・からくり花火を上演し、沖縄への興味喚起とインバウンド誘客へつなげる。
- ・からくり花火・博覧会特設サイトやSNSで博覧会上演プログラムの詳細について多言語情報発信を行い、からくり花火の復元成果をフォトブックで発刊する。

②魅力的な沖縄伝統芸能コンテンツの開催

- ・初心者にもわかりやすい沖縄伝統芸能の公演（組踊、音楽など）を制作、多言語の音声ガイド・字幕タブレット・解説書等を提供するとともに、多言語対応付きの展示、楽器体験、琉装体験やワークショップ等、外国人客が求める特別な体験ができる工夫をこらした取組を実施する。

③研究公演「首里城舞台による、組踊『執心鐘入』」

- ・琉球国時代の御冠船（うかんしん）舞台を用いて組踊「執心鐘入（しゅうしんかねいり）」を復元上演する。
- ・令和6年度日本博事業において復元した「板締（いたじめ）縮緬衣装」を着用し、琉球国時代の演出を行う。

④企画公演「ISLAND SONGS 島のうた」と講座

【講座】沖縄在住の英語圏外国人コミュニティに向けて、英語によるレクチャーとミニコンサートを行う。当日の様子は、直接会場に来られなかった方や海外の沖縄県人会向けにネット上で配信する。

【企画公演】外国人にも楽しめる沖縄音楽のライブ演奏で、奄美・石垣・宮古・沖縄の民謡から現代のポップスまで紹介する。当日は、講座参加者（外国人）がスムーズに劇場まで足を運べるようバスを手配する。

⑤インバウンド誘客に向けた広報宣伝

- ・全公演において多言語による公演解説の配布や公演情報の発信に努め、インバウンド向けサービスの提供や劇場への案内動画の配信等、情報発信を充実させる。
- ・外国人向け旅前サイトやSNSを活用した広報、観光施設、ホテルや観光案内所、空港やクルーズターミナル、レンタカー、関係機関施設団体等と連携した周知、「首里城復興イベント」での「組踊ワークショップin首里城」等誘客イベントの開催により、インバウンド誘客を図る。

(2) 沖縄伝統芸能の発信～2025年大阪・関西万博へ～ 申請公演

<コンテンツとして用意する公演>

公 演 名	期 日	日数・回数	多言語対応	備考
組踊の世界「女物狂」	7月19日	1日・1回	音声ガイド 解説書	展示
琉球楽器の音色	8月16日	1日・1回	解説書	楽器体験
組踊鑑賞教室「二童敵討」	9月17日 ～19日	3日・6回	音声ガイド 解説書	展示
はじめての組踊 ～Discover KUMIODORI～ 組踊「二童敵討」	9月20日	1日・1回	音声ガイド 解説書	公演後ワークショップ 琉装体験
首里城舞台による、 組踊「執心鐘入」	12月13日	1日・1回	音声ガイド 解説書	呈茶 琉装体験 首里城組踊ワークショップ
ISLAND SONGS 島のうた	1月24日	1日・1回	日英バイリンガル司会	事前連携講座 ミニコンサート